宮沢賢治記念館 発行 〒025-0011 岩手県花巻市矢沢1-1-36

☎ (0198) 3 1 − 2 3 1 9 **№** (0198) 3 1 − 2 3 2 0

0

世



「銀河鉄道の夜」



「セロ弾きのゴーシュ



「猫の事務所」



「やまなし」

(この切り絵は、7月3日から8月31日まで宮沢賢治イーハトーブ館にて展示されたものです。)

宮沢賢治の鳥に出会った日

児童文学作家 国松俊英



作

阿 部 E 介

(花巻市

宮沢賢治はふしぎな人

宮沢賢治はふしぎな人です。 生涯、私のそばを離れません。 子どもの頃から現在まで、私は 多くの作家の作品を読んできま した。ある作家がおもしろいと 思うと、一時期、その人の作品

を集中的に読みます。けれど、一通り作品を読む

と卒業して、興味は別の作家に移ります。

けれど宮沢賢治という作家は、中学生から現在 まで、いつも私のそばにいます。人生でこんなに 長くつき合い、親しくなった作家は他にいません。

中学生の時、図書室で賢治の童話を読んで好き になりました。高校生になって演劇部に頼まれ、 文化祭の劇に応援出演しました。劇は賢治の「植 物医師」でした。それからまた賢治の童話を読む ようになりました。大学生の時は、心象スケッチ 「春と修羅」も読みました。難解でよくわからな い詩でしたが、言葉とリズムに引きつけられました。 私は大学を卒業した後、童話を書き始めました。 サークルに入ったのは、「童話サークルに入りませんか」という新聞の小さな記事でした。読んだ時、賢治の童話が浮かび、賢治童話のような作品を一度書いてみたいと思ったのです。賢治がきっかけで童話の勉強を始め、気がついたら児童文学の仕事をするようになっていました。

いつも私のそばにいて、私とともに歩いてくれ ている宮沢賢治を大切な人だと思っています。

野鳥に興味を持ったのは、30代半ばです。千葉 県船橋市、東京湾のそばに住んでいて、干潟に飛 んでくるシギ・チドリを観察して野鳥観察が好き になりました。東京湾の鳥から始まり、全国各地 に出かけるようになりました。観察だけでなく、 いろんな鳥の本を探して読むようになりました。

私は文科系の人間なので、習性や生態ではなく、 鳥と人間の関わり、鳥の文化史に興味を持ちました。人はどのように鳥を敬い、鳥から学び、鳥を 利用し、鳥とともに生きてきたか、を調べていき ました。鳥の神話、昔話、古典文学、鳥の美術、 民間信仰…などです。

イーハトーヴの鳥たち

鳥の文化史の勉強を深めていって、賢治作品の 鳥に行き当たりました。

賢治の作品には鳥が多く出てくるし、大切な場面に鳥が登場します。ある時、そのことを、ちゃんと調べてみようと思ったのです。ちくま文庫の『宮沢賢治全集』(10巻)を買ってきて、全集を読みながら、鳥が出てきたら線を引き、蛍光ペンで色をつけていきました。全集の童話・短編・劇に鳥の名前が何種出てくるかを調べると、71種の鳥が出てくることがわかったのです。こんなに多くの鳥を作品に書く作家はめずらしいです。

賢治はとても鳥が好きで、鳥をよく観察していたことがわかりました。好きなだけでなく、鳥の生態や習性についてよく勉強しており、民俗的なことも深く知っていることがわかりました。

賢治が生きていた大正から昭和初期の日本では、 鳥は「捕まえて食べる」、「籠に入れて飼育する」 ものでした。日本野鳥の会は、まだ発足していま せん。野の鳥の生活のありのままを大切にし、尊 重し、人間と鳥がともに生きていく、という考え は、まだ世の中にはありませんでした。そんな時 代に賢治は、鳥など小さな生き物の命の重さは人 間の命と同じだ、という考えを持っていたのでした。すばらしい人です。

賢治作品の鳥を調べていくと、いくつもの「な ぞ」と「疑問」が出てきました。たとえば、「よ だかの星」の草稿表紙には、最初タイトルを「よ だか」と書いたのに、後にそれを消して「ぶとし

ぎ」と直しています。ぶとし ぎは、よだかとは違う種類の 鳥です。なぜ賢治は、タイト ルを別の鳥の名前に変えたの でしょうか。また、「鳥をと るやなぎ」など、作品に「もず」 という鳥がでてきます。よく 読むと、そのもずは、私たち がよく知っているモズ科のモ

は、何者なのでしょう?



がよく知っているモズ科のモ 草原のぶとしぎ ズとは違う習性の鳥です。賢治が書いた「もず」

鳥のなぞと疑問を解こうと、研究書や論文をつぎつぎ読んでいきました。けれど、賢治の鳥について書いた論文や研究はほとんどないのです。仕方ありません。私は、自分で調べていくより方法はないと悟り、調べ始めました。

いろんな文献資料を調べ、岩手の野山を歩いて 野鳥観察をし、昔の岩手の自然を知っておられる 人に会って、話を聞きました。大変ですが、実に 楽しく、やりがいのある作業でした。

賢治の鳥に出会ったことから、賢治文学の世界は大きく広がり、深まっていきました。また、多くの人と知り合いになり、私の人生は豊かで彩りのあるものとなったのでした。

『人新世』から考える宮沢賢治の作品 『人新世』から考える宮沢賢治の作品

甲南大学 澤田由紀子



年に数回は必ず訪れていた花巻に突然行けなくなった日々を過ごしていると、ふとした瞬間に、もう早池峰山は雪がとけて青々としているだろうか、南斜花壇の坂はまた通る人も少なく苔が茂っているのではないかし

ら、胡四王山の森には蝉時雨が鳴り響いているか しら、とぼうっと考える。この夏は、花巻では「た けにぐさに風がふいているということである」と 私に教えてくれる風が、部屋の窓から吹かないか しらと待っている。花巻祭りも賢治祭も戦後初めての中止となったこの夏の、花巻の皆さんのお辛い気持ちを考える。そうした生活の中では、このCOVID-19による生活の変化を環境問題としてどう受け止めるのかということを考えざるをえない。

今回のような動物由来のウィルスの発生自体は別に新しいものではないが、このような素早い世界的パンデミックに及び人間の被害を拡大させた要因は、世界のグローバル化にあり、それはまさしく「人新世(anthropocene)」の問題であるといえるだろう。「人新世」とは、地質年代の「完新世」はすでに終わりであるとして、現代の人間がグローバルな環境変化に優位に影響を与える時代であり、人間は影響を与えた地球環境の変化へのコントロールは既にできないものであるとして提唱されているもので、昨今、これが地質学的名称でありながら、哲学や環境哲学の中で着目されているものである。

日本で文学の環境批評という試みが始まってか ら30年、私自身が取り組んでからも約20年がたつ が、環境批評・エコクリティシズムの分野におけ る宮沢賢治への関心は高い。環境倫理の思想の先 駆けであるアルド・レオポルドの「大地の倫理」 と宮沢賢治の思想の共通性については、四半世紀 前にカレン=コリガン・テイラーが、最近ではグ レゴリー・ガリーが、同じく「なめとこ山の熊」 についての論述で述べている。アルド・レオポル ドの文章「山の身になって考える」において、彼 が撃って死にかけていく狼の目から消えてゆく光 の中に狼と山にしか分からないものが宿っている ということを悟ったという箇所において言及され ている世界と自然の関係性は、「なめとこ山の熊」 においては、小十郎の自分が狩る熊への共感覚 と、熊から向けられる自分に戻ってくる敬意とし て表出され、それがこの物語の本質的な「政治的 内容」であり、小十郎の最後の場面は「熊にとっ ては、そして山にとっては『どうみえるか』とい う姿」であるとガリーが述べている。宮沢賢治が 描いてきた物語やその思想、特に「新たな時代は 世界が一の意識になり生物となる方向にある/正 しく強く生きるとは銀河系を自らの中に意識して これに応じて行くことである」(「農民芸術概論綱 要」)という視点には、銀河系というマクロな生 態系システムの中で自他の有り様を考えていくと いう当時としては新しすぎるものであったが、字 宙時代の幕開けとともにその意図するところは多くの人に共感されるものとなった。科学によって宇宙的視点と量子的視点の両方を得た我々にとって、賢治の思想のもたらすビジョンは、人間が本質的にどのような存在であるかという問題意識を我々に与えてくれるものであろう。

環境批評における問題意識の変化は、今や存在 論に発展し、「人間にはコントロールできない自 然とともに生きてゆく存在としての人間のあり方 を考え直すことを迫るもの | (篠原雅武『人新世 の哲学』)として捉えられる「人新世」という枠 組みは、現代で宮沢賢治をいかに読んでいくのか ということへの新しい問題意識を提示してくれる ものではないかと考えている。近代文明批判を散 りばめていた賢治作品が今なお新しいのは、すで に「人新世」的観点からの視点を内包しているか らではないかとも思える。例えば、気候変動によっ て人生を翻弄されてきた少年の成長物語でもある 「グスコーブドリの伝記」では、地球温暖化のシ ステムを逆手にとって、寒冷化した土地を暖める 為に火山を爆発させて炭酸瓦斯で地球を覆い気温 を5度上げるという計画が実行されるが、その技 術が「不確か」であることを理由にブドリー人を 犠牲にして事はなされる。環境問題との関わりの 中では、宮沢賢治作品においては、これまでは自

然災害を人間の力で どのように克服する かという問題とその 限界が論議されてき たが、これを生態系 中心主義の考え方で 見るなら、物語は科



コロナ禍の終息を願って (撮影:澤田)

学技術志向でありつつも、最後の文章の「たくさんのブドリやネリ」という記述から、円環していながらもわずかに同じ状況にはならない物語として、偏在するブドリという存在論として語ることができるだろう。「たくさんのブドリやネリ」は「その冬」は暖かく過ごせても、また気候変動の年を迎えるかもしれない。現代の我々がグローバル化の影響を受けたパンデミック下におかれて限定的な技術の中で犠牲を払っているように。そうした物語を現代の問題意識でどう受け止めていくか。宮沢賢治作品を通じて考える環境問題は、実はこれからが本領発揮ではないかと考える今日この頃である。

令和の新時代に賢治のやさしいこころを

作曲家仙道作三



宮沢賢治の文学は短歌に始まり短歌に終る。

その始まりは15歳の時、盛岡中学校の11年先輩に当たる石川 啄木に憧れ作った。

賢治が4年生(16歳)の5月、 修学旅行で石巻―松島―塩釜―

仙台―平泉を訪れた。

中尊寺/青葉に曇る夕暮の/そらふるはして青 き鐘鳴る

賢治が聴いた中尊寺の鐘を私も聴いたことがある。1343(康永 2)年に鋳造された鐘で、ピアノの真ん中のレの音が鳴り、共鳴して 4 度高いソの音が軽く澄んで響く。レ(壱越)とソ(双調)は雅楽の演奏で最も多く使用される音。現在は除夜の一日だけ撞かれる。

盛岡中学校を卒業した賢治(18歳)は4月、盛 岡病院で肥厚性鼻炎の手術を受けた。

十秒の碧きひかりの去りたれば/かなしく/われはまた窓に向く

天使のような看護婦さんが10秒間脈を取る指先 の感触が忘れられず、

神楽殿/のぼれば鳥のなきどよみ/いよよに君 を/恋ひわたるかも

恋の絶頂が神楽殿に上り鳥の祝福を受け恋の高まりは最高潮に達する。

だが結婚に反対され、進学にも反対され、家業の店番と母の養蚕の手伝いに日々を暮らしノイローゼぎみになる。

学校の/志望はすてん/木々のみどり/弱きまなこにしみるころかな

見かねた父は進学を認めた。賢治は猛烈に勉強して盛岡高等農林学校へ首席で入学。仲間と同人誌「アザリア」を作り多数の短歌を発表。以後、仏教説話にヒントを得た童話や心象風景の詩作に励み、絶筆二首を作るまでの、ほぼ10年間は短歌を作っていない。

方十里稗貫のみかも/稲熟れてみ祭三日/そら はれわたる

一病のゆゑにもくちん/いのちなり/みのりに棄 てば/うれしからまし

私はどうして賢治の短歌をここに取り上げたか

と申すと、心象スケッチでない賢治の生の声が素 直に表されているからである。

恋のときめきや悩みの歌は『万葉集』に記され 1300年間受け継がれてきた日本固有の短詩型は日 本の文化遺産。賢治が『万葉集』に触れた記述を 知らないが、五七調の万葉と法華堂建立勧進文の 調子の良い七五調のリズムは親鸞聖人の「和讃」 に反映されている。

次に「雨ニモマケズ」の詩の後に、賢治が書いた「文字曼荼羅」がある。その元は日蓮聖人が佐渡へ流罪となり、死の淵に立ち始顕された「曼荼羅本尊」である。

賢治は中央に「南無妙法蓮華経」を書き、その 左にお釈迦様。心の浄い浄行菩薩。心安らかな安 りゅうぎょうほぎっ ここれが 如来。その右に釈迦の教えを褒め称えた多宝 如来。一番善い行いをする上行菩薩。広大無辺の 法を学ぶ無辺行菩薩を書いている。日蓮聖人の構 図と同じである。

私は二人の高僧のオペラを作った上での経験から記した。

賢治はそれら菩薩の利他のこころ、即ち自分を 勘定に入れずに冷害から農民を救う行動をした稀 有な人なのである。「羅須地人協会」を設立し自 ら農民となり自給自足を目指した。その方針を『農 民芸術概論綱要』に書き記し、計り知れない人々 に勇気と智恵を与えた。私も恩恵を受けた一人で ある。「羅須地人協会」は現代の生涯学習大学と 言える。

いま新型コロナウイルス終息後の時代はどう有るべきか、どう生きてゆかねばならないか、世界中の人々がその方向を探っている。リモートやオンライン授業やテレワークが可能な業種はごく僅か。人間は人間同士が触れ合ってこそ人間なのである。感染症のことは専門家の医師と研究者に委ね、私たちはそれを応援するしか手立てはないであろう。

そこで昭和8年9月、感染症(肺結核)で、37歳という若さで命を落とした宮沢賢治が展開した「羅須地人協会」の『農民芸術概論綱要』に学ぶのは如何だろうか。賢治の書かれた論考は、いま私たちが忘れがちな本質が凝縮されている。

賢治案を得て私が提案するには、一極集中型の都市構造は、一つの災害やこの度のコロナ感染を受けると脆くも首都の機能が停止する。国際的にも弱い。現状を見直されて地方の中・小の都市に

発展を委ね、そこに生まれ育った人々が誇りを持って働き、地場産業を興し地産地消し食料自給率を現在の40パーセントから100パーセントを目指すこと。

そこには気候と風土に合った新しい文化芸術が 興り、宮沢賢治が描いた理想郷の姿が実現される と思うのである。そう認識して現行の地方創生を 私は喜んでいたのだが・・・。

ここ20年間の経済至上主義で沢山の日本文化が 捨てられてきた。この先日本の言葉も失うのでは ないかと心配する。それを拾って学んでいるのは 欧米諸国の人たち。私が25年前、パリとドイツに 遊学し、そこで見たのは宮沢賢治の童話のドイツ 語版やフランス語版の「源氏物語」の日本の古典 や近代作家の作品。いまや賢治作品は中国や東南 アジアなど各国の人々に読まれ愛されている。

春夏秋冬の四季折々の気候風土に恵まれた国は世界にそうはない。我らの国の山川草木にはみな霊魂が宿る。賢治の言葉に宿る言霊は私たちのこ

ころと宇宙に響き、 その音響は世界に 轟く。

宮沢賢治が培った土壌と文化都市の花巻をユネスコの地球遺産に登録



清六さんとともに

を目指すのは如何であろうか。令和の新時代に賢 治の創造力が示唆を与えてくれるだろう。

語い

一賢治が繋ぐ心と心―

。。水。。。粮。。。粮。。。粮。。。。

宮沢賢治さんの宇宙観・世界観に導かれて

絵本美術館&コテージ 森のおうち 酒井倫子



1994年4月29日、宮沢賢治の 宇宙観・世界観を指針として開 館した"絵本美術館&コテージ 森のおうち"は今年で26年とな りました。年間に3~4回の絵 本原画展を企画してきましたが、 年に1回は必ず「宮沢賢治の世

界展」を展開してきました。

また開館して数年後から "森のおうち講座~楽 しみながら学ぶ宮沢賢治教室"を開講してきまし た。月に1回のお集りですが20年間続けてこられ たことは大きな喜びです。最初から飽きもせずに 参加している人が5人ほどいて、今は段々増えて 約20名の教室ですが、皆熱心に通い続けています。 受講生は皆、宮沢賢治さんが大好きで、繰り返し 繰り返しの勉強ですが、飽きることを知りませ ん。心象風景と童話を組み合わせては学んでいま す。最近の受講生のひとりは何と『春と修羅』の 初版本を手に入れ、手作りした宝箱に入れて持ち 歩き、仲間たちに見せてくれます。せっかくです から「序」をしっかりと学びつつ読み継いで行き たいと考えています。

また受講生の中の2人ほどは、賢治さんの作品

を絵本化する夢を抱いています。幸いなことに、 そのひとり髙山たみ子さんの「双子の星」「マグノリアの木」を、イーハトーブ館で展示していただけることになり、本人はもとより皆で喜んでいます。(今年9月~10月)。またそれに刺激されて「インドラの網」「二十六夜」に挑んでいる仲間もいます。東京の受講生は「銀河の会」を主催して賢治作品の朗読会、講演会を企画しています。

私の始めた小さな学習会から様々な息吹きが生まれていることは、本当に嬉しいことです。私が主宰で語り手のひとりでもある「森のおうちお話の会」(約10人)は、開館以来20年間各地で"お話会"を開催してきましたが、その主力は賢治先生の作品です。沢山の作品を手がけていますが、中でも10人フルメンバーで挑む「セロ弾きのゴーシュ」は見事です。かつて私たちの師であった俳優の故草薙幸二郎氏の演出です。大切に守り抜い

ていけたらと思いますが、 仲間たちの高齢化が心配 です。

終戦の年に小学1年生になり、小学4年生になり、小学4年生になった時、担任の先生が読み聞かせてくれた「風の又三郎」に魂を奪われた私は、生涯賢治さんの



森に立つ

"生きとし生けるものの生命の大切さ、平等さ" をその作品から読み取り、多の人々と共有することをモットーに歩みたいと思います。

私のあこがれの宮沢賢治記念館様のご繁栄をお 祈りいたします。

賢治がくれた縁 (えにし)

宮沢賢治・東和の会 中村萬敬



今年3月、ある新聞に賢治関連の投稿をしたところ、それを読んだ花巻市内に住むご婦人から、一通の手紙をいただいた。封を切るまでは、差出の名前に記憶がなかった。手紙を読むと、35年前に「花巻混声合唱団」で

ご一緒した方だと分かった。

その方は、中村眞子さん、86歳。眞子さんの実家が、賢治の生家の筋向いにあり、ご尊父が賢治の3歳年下で、熱心なクリスチャンだったことから、賢治と宗教論を語り合ったと、手紙に書いてあった。私はこれを見て、眞子さんにお会いしたいと思った。実際にお会いしたところ、賢治のことはもちろんのこと、昔の音楽談議に花が咲いた。

眞子さんは昭和9年、花巻市豊沢町生まれ。クリスチャンだった父親の影響もあり、小さい頃から賛美歌に囲まれて育った。賛美歌の醍醐味は、何と言ってもハーモニーだという。そのため、合唱に魅せられ、花巻北高入学と同時に、合唱部に入った。高校時代は毎年10月、盛岡・県公会堂で

開かれた合唱祭に参加した。

その後、社会人となり、アマチュアビックバンド「花巻リズムヤンガー」の初代ボーカルを務めた。「ビギン・ザ・ビギン」や「ジャニー・ギター」など英語の歌に取り組んだ。

その当時、市内の歌好きの人たちが集まって「音楽愛好会」を結成。花巻公民館にピアノを寄付するため、何回か「音楽の夕べ」を開催。愛好会には、賢治の弟、宮沢清六さんもベースのパートで参加していた。

昭和35年6月、花巻混声合唱団が発足。眞子さんも参加し、以来40年間、合唱団は続いた。花混の団歌は、賢治作詞の「精神歌」である。中村伸一郎先生の編曲で、混声4部の合唱曲。眞子さんのパートはアルト。主旋律は、ソプラノが担った。

平成7年、花混は花巻 市の第5回イーハトーブ 奨励賞を受賞。花混は長 年にわたり、定期演奏会 や賢治祭、賢治ファンタ ジーなどで、機会あるご とに、賢治作品を一貫し て発表してきた。

団員を務めた眞子さん にとって思い出の曲は、



花巻混声合唱団

岩手大学名誉教授だった鷹觜洋一先生が、花混のために作曲した合唱曲「雲の信号」や「五輪峠」、「原体剣舞連」だ。眞子さんは「こうした素晴らしい曲が、若い人たちに歌い継がれていってほしい」と目を輝かせた。

コロナ禍

✓ 学芸員特別寄稿

宮沢賢治とパンデミック 「天上のアイスクリーム |



宫沢賢治記念館 牛崎敏哉

酷暑が続いている。昨日(8月17日)などは静岡県浜松市で41.1度という日本最高気温タイ記録という「危険な暑さ」となった。

一方暑さには弱いといわれて

きたウイルスだが、新型コロナはいったん収まり つつあるかに思えたものの、ここにきて夏になっ ても感染拡大が止まらない。来月の賢治祭も中止 が判断された。

8月16日において日本の感染者数5万5千人超え、世界の感染者たるや総数2100万人を超え76万人超えの死亡と、まさにパンデミック(病気の世界的流行)の拡大が続いている。宮沢賢治記念館は、感染対策により臨時休館していたが、全国の感染収束の傾向を受けて6月より開館再開で動き出しているものの、岩手県も先月29日に初の感染者が出てから徐々に拡大している。

パンデミックという事態に直面し、私たち人類 は新たな生活行動様式を求められている。宮沢 賢治に関わっていえば、およそ100年前のパンデミックが大きく見直されることになった。それは、1918(大正7)年賢治が盛岡高等農林学校(現岩手大学農学部)を卒業し、研究生となった時代である。

その年11月初旬、二つ年下の妹で、東京の日本 女子大学校3年のトシが当時流行したスペイン風 邪に感染する。翌月20日風邪から肺炎カタルに至 り、永楽病院(東京帝国大学医学部付属病院小石 川分校)に入院。一週間後の26日、母イチと賢治 が上京し看病に当たる。この日から、翌年トシが 退院するまでの病状については、賢治が父・政次 郎に送った45通の書簡(ほぼ毎日、時に2通)か ら知ることができる。この精細な病歴(カルテ) は、当時の記録が少ない中での医療史の貴重な資 料として注目される。

スペイン風邪は、今に言う鳥インフルエンザの ことで、世界的大流行(パンデミック)となり 18 (大正7) 年から3年間にわたって (3回の大 流行の波があった)世界中に感染者は5億人以上、 死者は5千万人から1億人に及び、全人類の3割 近くが感染したことになる。日本では、当時の人 口5500万人に対し39万人が死亡。米国でも50万人 が死亡した。他のインフルエンザと異なり、若年 成人層の致死率が高かったのがこのウイルスの特 徴である。この数字は感染症のみならず、戦争や 災害などすべての死因の中でも、短期間における 歴史上例をみない記録的なものであった。岩手県 でも18年10月末から各地で患者を出し、年末まで に当時の県人口約86万人の4割近くが発病し3660 人が死亡。同年11月12日の地元の新聞「岩手日報」 には「恐怖のドン底へ」の見出しが見える。

これら父宛て書簡の看護記録の中に、印象的な食べ物が登場する。それは「アイスクリーム」。19 (大正8)年1月6日に賢治が書いた書簡に「((蓋ろ重湯の代りとして))アイスクリームを食し候。右牛乳、卵、塩等は差し入れ、氷及び器械は病院の品を用ひ附添の者之を作り今後も毎日之を取るべく候。」とある。

1月4日の父宛て書簡にて、トシは当初疑われた「腸チフス」ではなく「悪性インフルエンザ (スペイン風邪)」と診断されたとあり、父には病状に心配ないことを繰り返しているものの、感染爆発の渦中にいて「死への恐怖」はいかばかりだったろうか。トシは高熱が続き「食欲無く渇き甚だ

しき」病状において賢治が必死に考え出した食べ物が「アイスクリーム」だった。さしずめ今なら「不要不急」といわれそうで、あえて賢治は手間ひまのかかる手作りの食べ物を選んだことになる。

トシは「伝染室」に入院中であり、どんなふう

に食べたのか、また 当時はこのインフル エンザ大流行をきる かけに内務省衛生局 (今の厚生労働省) が「マスクとうがい」 を大々的に推奨して おり、賢治がマスク も気になるところで ある。



その後アイスク リームを食べ続けた

スペイン風邪予防ポスター

ことと重なるようにトシは回復に向かっていく。 19年1月15日トシの容態が小康を得たことから、 看病を賢治に委ねて母イチが帰郷する際「トシ子 の骨を持って帰ることまで考えて来た」と語って おり覚悟の上であったことがわかる。2月3日付 「東京朝日新聞」には、「感冒猛烈、最近二週間府 下の死亡者1300名」と報じられており、賢治は感 染爆発の東京に3月までトシの看病にあたってい たことになる。今なら都市封鎖(ロックダウン) の緊急事態が発令されるかと思われ、賢治は感染 の紙一重のところにいたことを、今の新型コロナ 感染拡大渦中にある私たちには容易に実感するこ とができる。

トシは無事退院し大学を卒業、地元花巻で教師となるが、22年結核を発症し11月27日にわずか24歳の若さでこの世を去ることとなる。東京で賢治がトシにアイスクリームを作って食べさせたとされるこのエピソードは、3年後にトシの臨終場面を描いた詩「永訣の朝」の次の最後の場面とつながってくる。

どうかこれが天上のアイスクリームになって おまへとみんなとに聖い資糧をもたらすやうに

詩「永訣の朝」にはトシ臨終の朝が描かれている。 作品の冒頭におけるトシが「けふのうちに/とほ くへいつてしまふ」恐怖の中で、あの奇跡の(天 上の)食べ物「アイスクリーム」が二人の思いに うかんだのだろうか。

その夜午後8時30分トシ逝く。賢治は押入れに 首をつっこんで慟哭したという。

記念館は、6月1日より再開しております。

「賢治の世界」セミナー 2020

新型コロナの影響で、実施時期を8月以降に延 期し、講師陣も県内在住者に限定した今年度の



「賢治の世界」セ ミナー。影響は避 けられず、昨年度 と比べ、7校減の 13校での開催とな りました。

講師と亀ヶ森小の皆さん

9月8日(火)には、

今年度で閉校となる亀ヶ森小学校として最後のセ ミナーを実施しました。

猛暑の中、マスク姿の全校児童15名が、大金雅 子さんの即興ピアノに乗せ松本亜季さんが語る 「鹿踊りのはじまり」に聞き入っていました。そ の真剣な眼差しとピンと伸びた背中は、新しい学 校での活躍を予感させるほど立派なものでした。

頑張れ!そしてありがとう!亀ヶ森っ子!

| [賢治の世界] ワークショップ |

特別展「四又の百合」の開催にあわせて、7月

18日生、記念館のあ る胡四王山の散策を 行いました。

20代から70代まで 14名の皆さんが参加 し、例年にも増して 咲き誇る山ユリやア



緑に映える白ユリ

ジサイ等賢治の作品に登場するたくさんの野の植 物を堪能することがでました。

また、当日は樹木や植物ばかりか、珍しいサン コウチョウや常連シジュウカラなど鳥の仲間たち が大合唱で皆さんを歓迎していました。

《特別展》変更のお知らせ

前号(No.122)でお知らせした特別展の開催期 日等を次のとおり変更いたしました。

◆「賢治と志功」…絶賛! 開催中

展示物、内容等に変更はございません。

期間 令和2年9月19日(土)

~令和3年1月31日(日)

実物資料の公開は

- ① 9月19日(土)
 - ~ 9 月27日(日)
- ② 1月23日(土)
 - ~ 1 月31日(日)

※ 9月28日(月) 令和3年1月



特別展図録

22日金の両日 は、資料入替のため特別展示室を閉室します。

◆童話「なめとこ川の熊」

「なめとこ山の熊」は、猟師の淵沢小十郎が主 人公のお話。小十郎は熊捕の名人ですが、本当は 熊を捕りたくありません。熊の言葉もわかり、熊 たちも小十郎のことが大好きなのです。でも、生 活のために毛皮をとるしかないのです……

昔、花巻の西側の山(鉛方面)にも熊を捕る猟 師が実際にいたとされ、「ナメトコ」という山も 存在することから、賢治は様々な事実情報をもと に、この童話を構想したと考えられます。作品の 内容から当時の生活にもふれられる特別展とした いと思います。

|期間| 令和3年2月6日生|

~令和3年5月9日(日)

- ・自筆原稿(全14葉)、パネル展示
- ・直筆稿の公開は未定です。

编集後記

再開して間もない6月のある日、高齢と思しきご婦 人から1本の電話を受けました。

「関西に住む者ですが、若い頃に訪ねて深い感銘を 受けた賢治の里に、生きているうちにもう一度だけ 行ってみたい、という衝動に駆られています。でも、 そちらは感染者ゼロの岩手県。皆様にとってこんな迷 惑な話はありませんよね。」

「とんでもありません。大歓迎です。」

とお応えし受話器を置いた後、心の中に何とも言えな いホッコリ感を覚えました。ちょうど賢治の童話を読 んだ後に感じるあの「温もり」に通ずるもののような 気がします。

このコロナ禍、変な息苦しさを感じ生活している中 で、自分を抑え他の傷みを知り思いやれる本当の「優 しさ」をもった、そういう人間に私はなりたい。